

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】



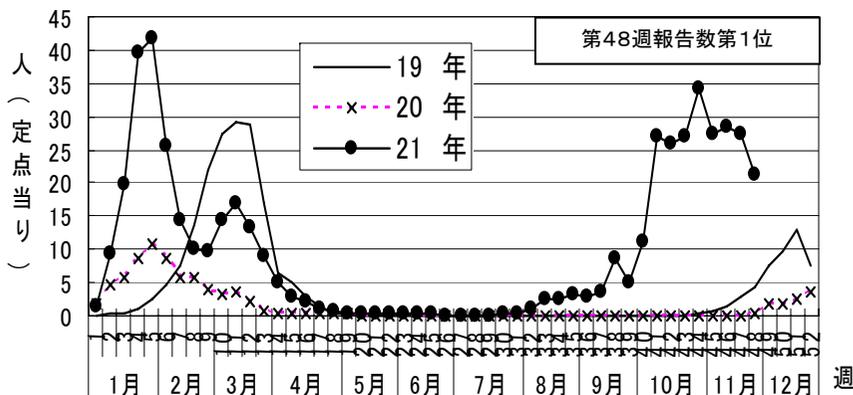
KAWASAKI CITY

平成21年11月23日（月）～11月29日（日）〔平成21年第48週〕の感染症発生状況

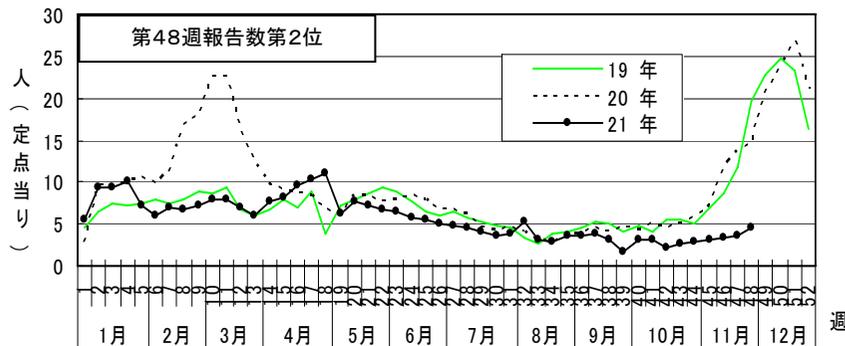
第48週で報告数の多かった疾病は、1) インフルエンザ 2) 感染性胃腸炎 3) 水痘となっています。

インフルエンザは、定点あたり21.39と前週より報告数は減少しました。ただし、宮前区では患者数が増加しており、また宮前区と多摩区では警戒レベル（定点あたり30）を超えていますので、患者の地区別の発生状況についても注意が必要です。

インフルエンザ発生状況(3年間)



感染性胃腸炎発生状況(3年間)



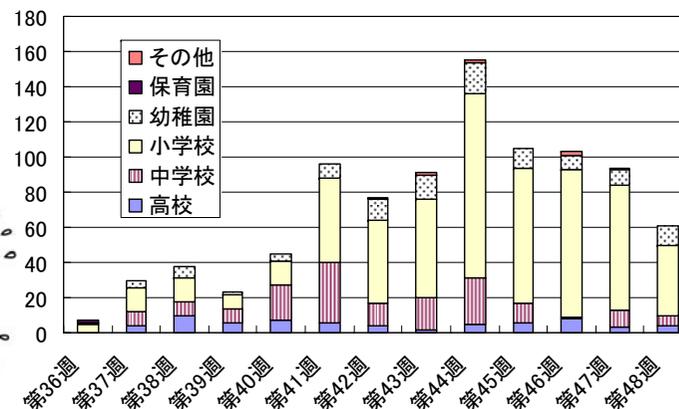
インフルエンザ患者の発生状況について

医療機関からのインフルエンザ患者の報告は前週に比べて約78%に減少しましたが、報告数を見ると、依然としてインフルエンザ患者は多い状況です。学校における臨時休業数も第48週で延べ61施設数と減少傾向にはありますが、多くの学校で学級閉鎖等が続いているので注意が必要です。

インフルエンザにかからないために、なるべく人ごみを避け、外出時はマスクをし、帰宅時には手洗いとうがいを心がけましょう。

また、室内を適度な湿度に保ち、睡眠を十分にとりましょう。

臨時休業施設数



インフルエンザ脳症の早期の症状として注意しなくてはならない場合は、インフルエンザ様症状（発熱・咳など）に加えて次の症状が見られた場合です。

- 呼びかけにこたえないなどの意識レベルの低下
- けいれんの持続やけいれん後の意識障害が見られる
- 意味不明の言動がみられる

上記のような、症状が見られたり、その他異常な状況であれば、すぐに医療機関を受診するようにしましょう。

